

事業所名

こども療育スポット キャンパス（放課後等デイサービス）

支 援 プ ロ グ ラ ム

作成日

令和7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		誰もが自己実現をなせる地域社会の実現		
支援方針		・あるがままに受け容れられ認められることで、子どもたちが安心して過ごせ、自己表現できる第3の居場所づくりを行う ・丁寧な関わりや丁寧な支援を通して、子どもたちが身の回りのことや生活を丁寧に言う態度を培い、自分を大切にし、自分を高めていく心を育む ・することはわかりやすく丁寧に伝え、本人のペースを大切にする。無理強いせず、今できることやしようとしていることをまず認め、できたことはしっかり褒める心に寄り添った支援を行う		
営業時間		10 時 00 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・体調や様子を把握し、本人のペースで安心して過ごせるような配慮 ・挨拶、身支度、衛生習慣、物の取り扱い方などの見守りや助言 ・見通しをもって行動できるように予定は早めに伝え、時間を意識する力を育む支援		
	運動・感覚	・粗大運動（体操、ジャンプ、ボール、サーキット、縄跳びなど） ・微細運動（粘土、絵を描く・色を塗る、工作、季節のテーマの製作など） ・感覚遊び（バランス運動、新聞遊び、氷遊び、箱の中身当てゲームなど）		
	認知・行動	・その日することを一緒に確認 ・活動や宿題などは無理強いせず、自主性を尊重した意欲がわくような促しや補助 ・好ましい行動にアプローチし、場面に応じた行動を増やす支援 ・小集団活動を通して、その場の状況、相手の様子に意識を向けたり、自分の感情や行動を調整する力を育む支援		
	言語 コミュニケーション	・本人の表出（ノンバーバルコミュニケーションを含む）を丁寧に受け止め、言葉にして応答することで言葉によるコミュニケーションを育む関わり ・挨拶、読み聞かせ、自己紹介、ことばカード、ことわざ、熟語、遊びなどを通じて語彙力や表現力を育む支援 ・他児とのやり取りに必要な応じて介入し、考えや思いを言葉にして伝える力を養う支援		
	人間関係 社会性	・小集団生活で安心して過ごし、他児や職員に興味を持てるような関わり ・他児や職員といる場面（始めの会や帰りの会、小集団活動、おやつ、遊びなど）を共有し、関わることの楽しさを感じ、ルールや順番などの社会的スキルの習得を促す支援 ・他児との関わりは必要に応じて介入し、相手の様子や状況を伝え、相手の気持ちをわかろうとする力や他者視点を育み、良い関わりができるようにする		
家族支援		・連絡帳（その日の活動内容や様子のお知らせ） ・半年に1回の見学と面談（支援の定期的な確認や見直し、子どもに対する支援場面を通じた相談援助）	移行支援	・集団生活に必要な社会性等の向上を目指した支援目標の設定 ・必要な利用日数の調整等を行うための保護者や関係機関との連携 ・地域への移行に向けた関係機関との連携や相談援助
地域支援・地域連携		・サービス担当者会議等による地域や関係機関との連携 ・防府市地域総合支援協議会や防府市子ども発達支援部会への必要時の参加	職員の質の向上	・所内研修、外部研修の受講 ・支援の振り返りと改善（レポート提出） ・ヒヤリハット事例の記録、共有による意識向上
主な行事等		・季節の行事を取り入れた活動…夏祭り（未就学の他児と合同）や豆まき（自分たちで新聞紙で豆を作って撒く）など		